

「家族性腫瘍」投稿規定

- 1 「家族性腫瘍 (Journal of Familial Tumors)」は日本家族性腫瘍学会の機関誌として発行する。
- 2 著者 (共同著者を含める) のうち1名は本学会会員であること。
- 3 論文の採否は編集委員会で決定する。委員会は必要に応じ、投稿者に修正を求めることができる。
- 4 論文は他誌に発表されていないものに限る。また、本誌に掲載された論文の著作権は本学会に帰属する。
- 5 論文の種類は以下のとおり
総説・解説・原著・臨床経験・症例報告・バリエントレポート・データベース・その他 研究報告など
- 6 校正
著者校正は原則として初校で行う。校正は誤植の訂正にとどめ、文章の大幅な加筆、削除、図表の取り替えは原則として認めない。
- 7 原稿の送り先
投稿は原則、電子メールとする。
E-mail : edit-jsft@totalmap.co.jp
電子メールでの投稿が困難な場合、原稿を1部印刷し、あわせてCD-ROM, USBメモリなどの電子媒体に保存して下記住所に送付する。
〒675-0055 兵庫県加古川市東神吉町西井ノ口601-1 有限会社トータルマップ内「家族性腫瘍」編集事務局
TEL : 079-433-8081 FAX : 079-433-3718
- 8 投稿原稿は、A4版とし、マイクロソフトワードを用いて作成する。原稿 (図・写真、表を含むワードファイル及び原稿のPDF)、利益相反申告用紙 (PDF)、誓約書 (PDF) を送付すること (チェックリストで確認のこと)。
- 9 掲載料はかからない。カラーの図表も著者負担はない。
- 10 他書より引用する場合は、図、表の説明の後に出典を明示し、文献欄に掲げる。なお、他書よりの転載については、著者の責任で原著者、発行者の許諾を得ること。
- 11 論文内容、特に家系図等については、個人情報保護、各種研究倫理指針などに十分留意する。

執筆要領

1. 表紙の構成

表紙には①論文の種類、②論文標題、③著者名、④所属、⑤連絡先を、また次のページに⑥要約 (400字程度またはそれ以下)、⑦Key words (3~6語) を書くこと。また①~⑦と同じ内容を英文で記述する (英文論文はこの限りではない)。要約はSummaryとして、250語以内で書くこと。

2. 本文

本文は総説、原著の場合はおおよそ10000字以内 (400字詰原稿用紙25枚以内、図表・文献も含む、図表は各々1点を原稿用紙1枚に換算する)、症例報告、データベースなどはおおよそ7500字以内 (400字詰原稿用紙18枚以内、図表・文献も含む、同上) を基準とする。

3. 単位記号

SI単位を使用する。遺伝子名の表記については、HUGO Gene Nomenclature Committee (HGNC : <http://www.genenames.org/>) のガイドラインに準じて記載すること。但し、文献

リスト中のタイトルにおける遺伝子名の表記は、原著の表記に従うものとする。また、遺伝子の変異・variantの記載に関してはHuman Genome Variation Societyのガイドライン (<http://www.hgvs.org/rec.html>) を参照のこと。

例) HUGO Gene Nomenclature Committee (HGNC) の表記法
遺伝子 (イタリック) 蛋白 (スタンダード)

ヒト	<i>MLH1</i>	MLH1
マウス	<i>Mlh1</i>	Mlh1
大腸菌	<i>mlh1</i>	mlh1

4. 文献

本文中における文献の引用は上付きの通し番号1), 2, 3), 4-6)などを付け、論文の末尾に、引用順に一括列記する。

【引用文献の書き方】

① 雑誌に掲載された論文を引用する場合

文献番号、著者名 (著者の数が3人を越える場合は3人の名前を書き、その後にet al.をつける) : 論文名. 誌名 (略称) 発行年 (西暦) ; 巻数 : 引用ページ (最初と最後) .

② 単行本を引用する場合

文献番号、著者名 (著者の数が3人を越える場合は3人の名前を書き、その後にet al.をつける) : 書名 (省略しない) . 発行都市名 : 発行所, 発行年 (西暦) : 巻数 (あれば) , 引用ページ (最初と最後) .

【表示例】

① 雑誌

1) Bai Y-Q, Akiyama Y, Nagasaki H, et al. : Predominant germline mutation of the hMSH2 gene in Japanese hereditary nonpolyposis colorectal cancer kindreds. *Int J Cancer* 1999 ; 82 : 512-515.

2) 丸山道生, 菅野範英, 江瀬正和, 他 : 肝転移に対する5-FUの腹腔内投与と静脈内投与の基礎的比較. 癌と化学療法 1999 ; 26 : 497-502.

② 単行本

3) Yuasa Y, Akiyama Y: Molecular biology of hereditary nonpolyposis colorectal cancer. In: Utsunomiya J, Mulvihill JJ, Weber W (eds.): *Familial Cancer and Prevention—New Strategy Toward Cancer Control—*. New York : Wiley-Liss Inc., 1999 : 237-244.

4) 湯浅保仁 : がん遺伝学. 有吉寛, 他 (編) : 臨床腫瘍学. 東京 : 癌と化学療法社, 1999 : 233-242.

5. 挿図, 写真, 表

① 図 (写真を含む) は「Fig.1.」, 表は「Table1.」とアラビア数字で番号をつける。また、表題、説明および図表中の語句は原則英語表記とする。

② 図の表題および説明は別紙に順番にまとめる。

③ 図は原稿から直接製版するので、描線の太さ、文字の大きさなどは特に注意する。

④ 図中の文字は大きさの違う文字や書体の違う文字を多量使用すると、きれいな仕上がりにならないので、注意すること。

⑤ 写真はカラー掲載も可能である。

⑥ 写真や小さな図は上下左右がわかるようにする。